

竜王北中学校 学校関係者評価書（後期）

平成 27 年 2 月 20 日（金）
（竜王北中）学校関係者評価委員会作成

第 2 回 学校関係者評価委員会

実施日：平成 27 年 2 月 20 日（金）午後 5 時 15 分～

会 場：竜王北中学校校長室

参加者：（学校関係者評価委員）

石合 廣光 中島 民雄 今村 和美 小尾 裕子
名取 一子 岡月 美和

（学校側）

深沢 勝彦 小林 大 高橋 光明

I 学校側から提案された内容

- ・平成 26 年度自己評価書（後期）
- ・平成 26 年度 第 2 回 自己評価シート集計結果表
- ・平成 26 年度 第 2 回 中学生用アンケート集計結果表
- ・平成 26 年度 保護者用アンケート集計結果表

II 協議された主な内容

- ・平成 26 年度自己評価書（後期）は、アンケート結果を踏まえて、本校の実態に即した改善策が示されているものであるか。また、改善策として他の方法はないか。
- ・本校の教育活動についての質疑とそれに対する意見および今後の改善内容

<学校関係者評価書>

I 全体評価

- ・全体的に良好で、適正である。
- ・この規模は、先生も子がよく見える。地域も子どもがよく見える。
- ・保護者も安心して学校に登校させる事ができる。今後も叱咤激励していただきたい。

II 特 徴

- ・竜王北中の場合、アンケートの集計からも、保護者と子どもの意識やとらえ方が一致してきている。
- ・子どもの生活について
 - ・睡眠時間について、中学生の望ましい時間は、7・8 時間位ではないかと考えられる。子どもは 6・7 時間、保護者は 7・8 時間と、親子での認識の違いがある。実際中学生も忙しく生活をしている。8 時間睡眠で考えると 10 時に寝て 6 時に起きる事になる。特に 3 年生の睡眠時間が少なくなる事は受験生であるがゆえの特色である。
 - ・部活動についても、登校時間の規制をし、望ましい生活習慣を考え、朝ご飯をしっかり食べて活動を促している。こういうことは継続してほしい。

・ 授業について

- ・ 授業については、1 時間の見取りが低いものもあるが、前期と後期の単元の違いによるものかもしれない。
- ・ 授業において、1 時間の評価にこだわりすぎないで、必要最低限をおさえる中で、1 時間の授業を充実したものにしてもらいたい。
- ・ 教材・教具の工夫も考えていく必要がある。
- ・ 学力向上に向けた研究から、生徒が楽しくわかる授業に向けて授業力の向上を図ってほしい。

・ 危機管理について

- ・ 近隣の中学校の電話による脅迫事件からも、今後、多様な危機管理が必要である。
- ・ 事件・防災に対する、それぞれのマニュアルの作成と確認が必要である。
- ・ 防災については、甲斐市で来年度、地域と学校で話し合う機会が設けられているようであるが、登下校を含め、日常生活の中で、学校と地域や保護者との関係の構築が必要である。
- ・ 万が一の時、開放の仕方については検討の必要がある。
- ・ 第 1 次、第 2 次避難場所として、竜王北中は竜王 1～4 区の避難場所になっている。このことも学校と地域との共通理解が必要である。

Ⅲ 今後の課題として意識したいこと

- ・ アンケート項目に、家での手伝いの項目、生徒の危機管理に対する項目も必要である。次年度以降、保護者・生徒共に把握し指導に生かしてほしい。
- ・ 学校の指導、家庭の躾という事について、言葉がけは必要であり、かける言葉の中身について、子どもの人格を認めて、接していく事が大切である。国語の授業でも言語環境を良好なものにしてほしい。
- ・ 近年起こっている事件も、言語環境の乱れからくるものも増えてきている。一部だとは思いますが、不安が付きにくい。自尊心を高める事は、子どもの育て方の中では大切な事である。否定ではなく、対話を繰り返しながら躾を行う事は大切である。自尊感情を育てる事は、非行の予防にもつながっているため、褒める事を大切にしたい。
- ・ 改善策の確実な実施に励み、継続により、教育水準の向上を図ってほしい。

※特記事項

なし

記載責任者（竜王北中学校 学校関係者評価委員長） 氏名：石合 廣光 印